



株主の皆様へ

第117期

平成27年4月1日～平成28年3月31日

YODOGAWA STEEL WORKS

Steel sheet / Building material / Exterior / Roll / Grating

物件名 : EXPOCITY (エキスポシティ)
設計・施工 : 竹中工務店・竹中土木共同企業体様
仕様 : 屋根 / ヨドルーフ 166 ハゼ インシュレーション工法
ヨドルーフ 150・ヨドルーフ 90 ハゼ・ヨドルーフ 瓦棒 400
外壁 / ヨド耐火パネルグランウォール
内装天井 / ヨドルーフ 88・ヨドスバン 1K 型



株式会社 淀川製鋼所

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、このたびの熊本地震で被災されました皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

当社の第117期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の事業の内容につきましてご報告申し上げます。

平成28年6月



代表取締役会長
國保 善次

代表取締役社長
河本 隆明

「自主自立」の強みを活かし、
「海外事業展開」と
「国内需要捕捉」を基軸として、
企業価値の向上につとめてまいります。



代表取締役社長
河本 隆明

防災・耐震に貢献する商品づくりをめざす

このたびの熊本地震では、当社ならびに当社グループ会社にも人的・物的被害はありませんでしたが、取引先様の中には、会社の施設や設備、そして社員のご自宅などに大きな被害を受けられた企業様もありました。当社社員は、震災の翌日には飲料水など緊急に必要な

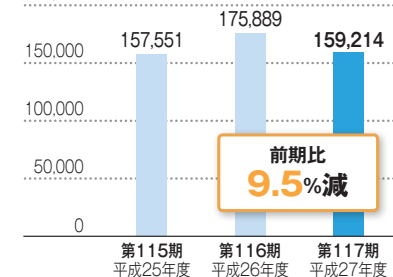
物資を積んだ車で被災地の取引先様を回り、被害状況の把握につとめました。その後もできる限りの支援をさせていただいております。

事業活動のあらゆる側面で「安全・安心・環境・景観」をキーワードとしている当社では、物置をはじめとする当社エクステリア商品を、防災や災害発生後の避難生活などに役立てていただくべく、さまざまな取り組みを進め

連結業績の推移

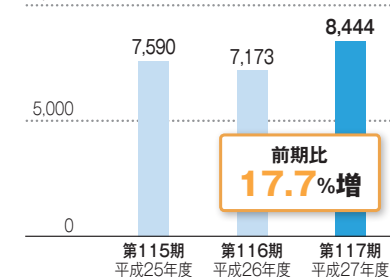
売上高

(単位:百万円)
200,000



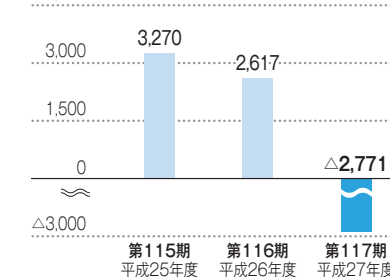
経常利益

(単位:百万円)
10,000



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)
4,500



ています。このたびの震災で、被災地の自治体の方とお話をするなかで、避難生活をされている方々から更衣室や授乳室といったプライベート空間の不足に関するお悩みがあることを伺いました。

当社では、このような場合にプライベート空間を確保できる、「ヨド物置エルモ」や「ヨド蔵MD」の間仕切りオプションセットをラインアップに揃えています。これらの商品を避難生活でお困りの皆様に役立てていただくため、一部の避難所に提供させていただきました。

ヨド物置は、一般の建物と比べ軽く地震の揺れの被害を受けにくいこと、また万一被害を受けた場合でも、屋外に設置している物置からは収納物の取り出しが比較的容易であることから、ヨド物置を「防災倉庫」としてお使いいただくご提案とともに、関連するオプションの商品ぞろえにも力を入れてきました。

自治体などが設置される不特定多数が利用する防災倉庫では、万一の場合に鍵がなくても扉を開いて収納物を取り出せることが重要であることから、当社の「ヨド蔵MD」を防災倉庫としてご採用いただく場合のオプションとして、地震解錠装置をラインアップに揃えています。

高速道路のサービスエリアやパーキングエリアに設置している防災備蓄倉庫には、当社の「ヨド蔵MD（地震解錠装置付き）」を多数ご採用いただいておりますが、このたびの震災でも震度の強いエリアで自動解錠の機能が設計通り有効に働きました。

また、当社のコア商品であるめっき鋼板やカラー鋼板

は、耐久性に優れ、軽くて地震・火災にも強く加工しやすいため、住宅の屋根材や壁材に非常に適した素材です。めっき鋼板やカラー鋼板の住宅建築へのご採用が増えることで、地震や火災などの防災のお役にたてればとの思いを改めて強くしております。

今後は、ハード（商品）の提供だけではなく、さまざまな防災用途の提案などを通じて、社会に貢献していきたいと考えております。



物置という防災

鉄鋼市況の停滞感が強まった 2015年度を振り返って

当社グループは、採算重視の販売活動とコストダウンに努めましたが、国内では建材向けめっき鋼板の販売量が減少したこと、海外では米国でのアンチダンピング措置の影響から台湾の子会社 盛餘股份有限公司

(SYSCO社)の米国向け販売数量が減少したことなどから減収となりました。

中国鉄鋼市場の急激な環境の悪化を受けた淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司(YSS社)では、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、同社の保有する機械装置について約58億円の減損処理を行いました。

YSS社において会計基準に従い多額の減損損失を計上する結果となり、株主の皆様には大変ご心配をお掛けしておりますが、同社が当社グループの事業戦略上、最も重要な生産・販売拠点のひとつであることに何ら変わりはなく、今後もグループの総力を挙げて早期の軌道乗せを図ってまいります。

商品面においては、新たな防災関連商品として「ヨドガレージ ラヴィージュ 止水仕様」の販売を開始しました。



昨今各地で多発している集中豪雨などの突発的な浸水被害から大切な愛車や保管品を守ることが可能です。

大型物件では「EXPOCITY(エキスポシティ)」（大阪府吹田市）に当社の「ヨド耐火パネル グランウォール」が全面的に採用されました。優れた防耐火性能と高い断熱性を有し、施工性にも優れている点でご好評をいただいております。また、「市立吹田サッカースタジアム」（大阪府吹田市）の屋根壁にも当社の外装材が採用されました。

2016年度に向けての展望

日本経済は、2020年の東京オリンピック開催に向け回復傾向を強めていくことが期待されますが、不透明感の高まっている世界経済の影響を受けるリスクとともに、表面処理鋼板の価格が中国をはじめとするアジア市況の影響を強く受ける状況は変わらず、引き続き不透明な状況が続くものと予想されます。このような状況のなか、当社としては「海外事業展開」と「国内需要捕捉」の動きをより加速していかなければなりません。

海外事業では、中国YSS社に対して新たに9,000万米ドルの増資を実施しました。YSS社の事業活動の早期軌道乗せを目指し、財務基盤を強化することを目的としたものです。YSS社では、積極的に販売分野の拡大に向けた営業活動に取り組んでおり、その成果が徐々に見え始めております。中国の子会社である淀鋼建

材(杭州)有限公司(YBMH社)との協働強化も含め、安定的な経営基盤を構築する足がかりになる年とすべく、あらゆる施策を講じてまいります。また、タイの子会社であるPCM PROCESSING (THAILAND) LTD. (PPT社)は、2015年10月以降の月次決算で黒字となっており、今年は通期での黒字達成を確かなものにするため、販売分野の拡大とさらなるコストダウンにつとめてまいります。

日本国内においては、大規模商業施設や物流施設などを中心に採用が増えている「ヨド耐火パネル グランウォール」の生産能力を増強します。約20億円を投じ、兵庫県姫路市に新たな生産拠点を設け、生産能力をこれまでの2.5倍である月産2.5万㎡に引き上げます。また、お客様の要望に応じて、商品サイズや機能のバリエー



グランウォールを使用した施工事例
大塚倉庫株式会社西日本ロジスティクスセンター

ションも充実させ、2018年度には年間30万㎡の販売を目指します。

中長期的な企業価値の向上に向けて ～コーポレートガバナンス・コードへの対応～

当社は、当社グループの中長期的な企業価値の向上を目指すとともに、ステークホルダーの皆様からさらに信頼される会社になるため、実効的なコーポレートガバナンスの指針として、昨年12月に「コーポレート ガバナンス ガイドライン」を策定・公表しました。

今後は、あらたな成長の実現のため、経営環境の動向を踏まえた中期経営計画を策定し、これを公表する予定です。

また、会社組織においては、本年4月に新たにIR室を設置しました。今後は、株主や投資家の皆様に対し財務情報のみならず、ESG(環境・社会・ガバナンス)などの非財務情報も適切かつ継続的に提供してまいります。

世の中の変化に対応し さらなる成長を目指す

当社グループは「新しい個性を持った価値の創造」を基本理念に掲げ、社会から信頼され、必要とされる存在価値のある企業を目指しています。また、「自主自立」をグループの基本方針として、独立系メーカーとしての強みを最大限活かす経営を追求しています。

一方で、「自主自立」の経営ということは、事業環境がいかなる状況であっても自ら対処しなければならず、そのためには事業の先行きを正確に見極めることに加え、強固な財務体質が重要な要素と考えております。

当社のこれまでの歴史を振り返りましても、その時々で先行きを見定め、事業の形態を変えてまいりました。このフレキシビリティが当社の強みのひとつであり、先行きの不透明感が増している現代社会においても変

化への対応は可能と考えています。

当社グループは、あらたな成長に向け、中国やタイをはじめとする「海外事業展開」と国内需要の縮小トレンドのなかで更にシェアアップを図る「国内需要捕捉」を今後の成長の基軸としてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



「市立吹田サッカースタジアム」に 当社金属製外装材採用!

ガンバ大阪の新たな本拠地「市立吹田サッカースタジアム」の屋根壁に当社の金属製外装材が採用されました。複雑な意匠を忠実に再現できる成形性・施工性やコスト・耐久性などが評価の決め手となりましたが、施工では直線の屋根材と緩いアーチを描く屋根材があたかもつながっているように仕上げる必要がありました。現場でのロール成形で工夫した結果、インパクトのある外観演出に貢献することが出来ました。



所在地：大阪府吹田市千里万博公園3番3号
発注者：スタジアム建設募金団体 様
設計・施工：株式会社竹中工務店 様

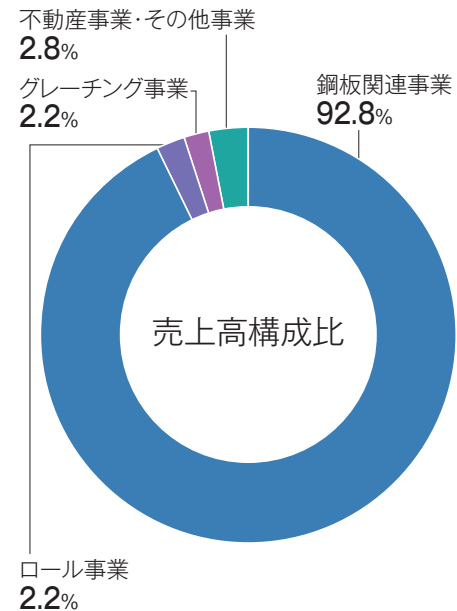
©株式会社竹中工務店

売上高 **159,214**百万円
(前期比 9.5%減)

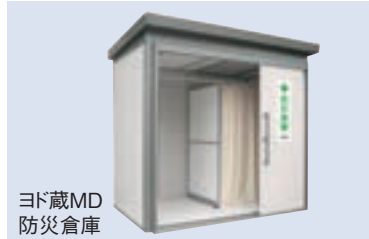
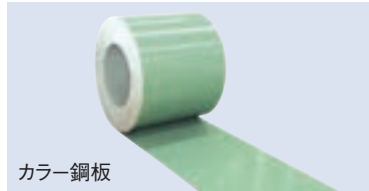
営業利益 **7,302**百万円
(前期比 113.0%増)

経常利益 **8,444**百万円
(前期比 17.7%増)

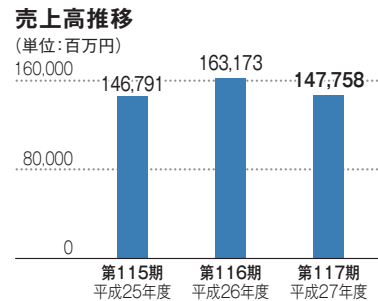
親会社株主に帰属する当期純利益 **2,771**百万円



鋼板関連事業



売上高 **147,758**百万円
(前期比 9.4%減)



鋼板業務

カラー鋼板は家電・建材向けともに堅調に推移

めっき鋼板は安価輸入材の流入増加の影響もあり販売量が減少

台湾SYSCO社は、米国のアンチダンピング調査の影響により輸出が減少

タイPPT社は第4四半期に黒字転換

今後の取り組み

- 不透明な市場環境が続くが採算重視の販売活動とコストダウンにつとめる
- 台湾SYSCO社は台湾国内販売の強化とともに米国向け輸出の回復につとめる
- 引き続き中国YSS社の早期軌道乗せに取り組む

建材業務

エクステリアは中・大型物置エルモやダストピットが好調

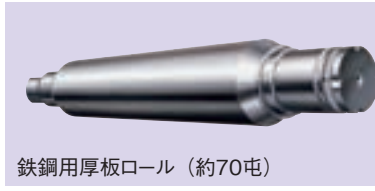
主力のルーフは販売量が減少するも、グランウォール・ファインパネルは販売順調

工事は大型商業施設や物流施設の完工があり増収

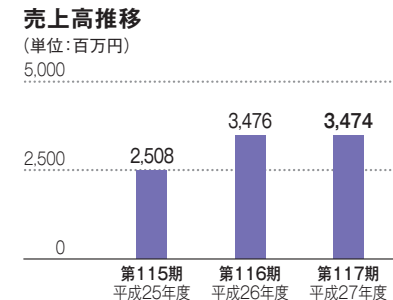
今後の取り組み

- 建材商品ではグランウォールのラインアップを強化
- 防災関連商品などの提案営業により需要の捕捉に注力
- 工事では引き続き大型物件獲得をめざす

ロール事業



売上高 **3,474**百万円
(前期比 0.1%減)



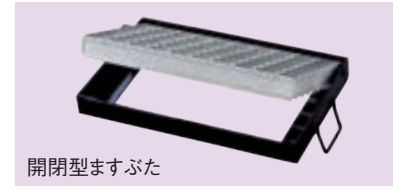
高付加価値品 (YPM法*によるハイス (ハイスピードスチールの略称) ロールなど) の提案を進めるなど価格改善に取り組む、黒字化

今後の取り組み

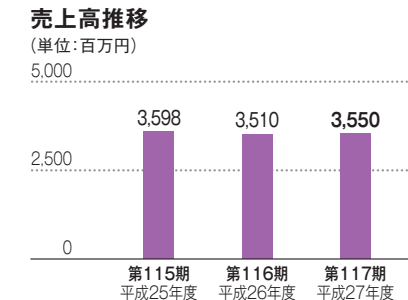
- 鉄鋼業界向け高付加価値ロールの拡販に引き続き取り組む

* YPM法… 淀川溶湯肉盛 (ようとうにくもり) 法 (Yodogawa Padding Process with Molten Metal) 従来の遠心鑄造法と比較し、2~3倍の耐久性をもつハイスロールが製造可能。

グレーチング事業



売上高 **3,550**百万円
(前期比 1.1%増)

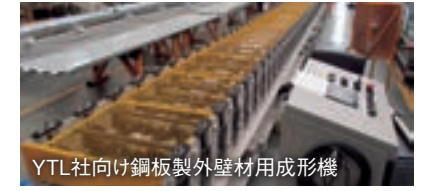


公共物件は低調ながら高機能商品の販売比率上昇により売上高は概ね前期並み

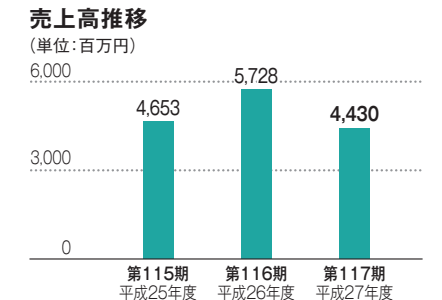
今後の取り組み

- 民間需要の確実な捕捉を一層強化し、販路拡大に取り組む
- 高機能商品の販売比率向上につとめる

不動産事業・その他事業



売上高 **4,430**百万円
(前期比 22.7%減)



不動産事業は販売用不動産の売上増により増収

その他事業は前期に大口の機械プラントの売上があったため減収

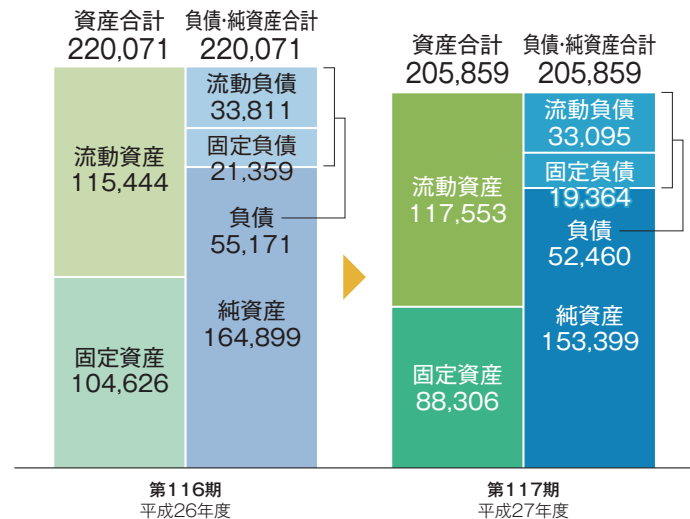
今後の取り組み

- 不動産事業は資産の有効活用を継続

* YTL社… YODOKO (THAILAND) CO., LTD.

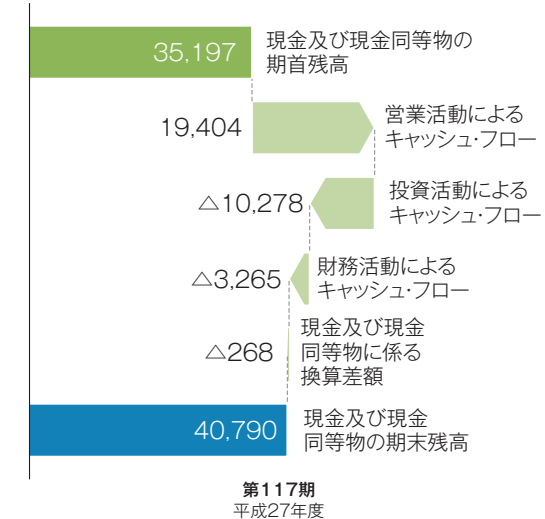
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



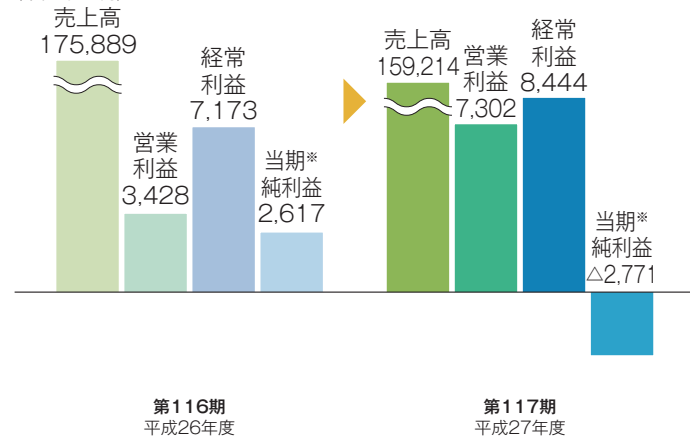
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



連結損益計算書の概要

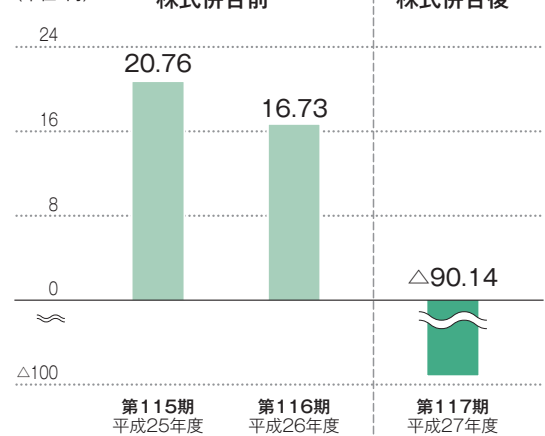
(単位:百万円)



*親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益(連結)

(単位:円)



*平成27年10月1日付で普通株式5株を1株の割合で併合した為、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益(連結)を算定しております。

当社の概要

社名 株式会社淀川製鋼所
 設立 昭和10年1月30日
 資本金 23,220,815,228円
 従業員数 1,157名

当社の主な事業所及び工場

本社 〒541-0054
 大阪市中央区南本町四丁目1番1号
 06-6245-1111
 支社 〒104-0041
 東京都中央区新富一丁目3番7号
 03-3551-1171
 営業所 札幌、盛岡、仙台統括、新潟、長野、高崎
 東京統括、横浜、静岡、北陸、名古屋統括
 大阪統括、神戸、岡山、広島、高松統括
 高知、八幡、福岡統括、鹿児島、沖縄
 工場 大阪(大阪府)、呉(広島県)、市川(千葉県)
 福井(福井県)、泉大津(大阪府)

当社の主な関係会社

- 連結子会社
 - 高田鋼材工業株式会社 鋼板の加工および販売、倉庫業
 - 盛餘股份有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - 淀鋼商事株式会社 鉄鋼卸業、運送業
 - 京葉鐵鋼埠頭株式会社 倉庫業
 - ヨドコウ興発株式会社 ゴルフ場等経営および不動産賃貸
 - 淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - PCM PROCESSING (THAILAND) LTD. カラー鋼板の製造、加工および販売
- 持分法適用関連会社
 - 株式会社佐渡島 鉄鋼卸業

当社の役員(平成28年6月23日現在)

取締役	執行役員
代表取締役会長	國保善次
代表取締役社長	河本隆明
取締役 専務執行役員	大森豊実
取締役 常務執行役員	林伯真生
取締役 常務執行役員	岡村裕一
取締役 常務執行役員	大森眞哲
取締役 常務執行役員	二田隆昌
取締役 常務執行役員	渡辺格
取締役 常務執行役員	服部一郎
取締役 常務執行役員	中野要善
取締役 常務執行役員	河本善博
取締役 常務執行役員	隈元稔夫
取締役 常務執行役員	葛生信介
取締役 常務執行役員	八十崇令
取締役 常務執行役員	大隅康令

※佐伯壽一および岡村裕の両氏は会社法に定める社外取締役です。

監査役

監査役(常勤)	境口勝己
監査役(常勤)	森岡司郎
監査役	宇津呂修
監査役	岩田知孝

※宇津呂修および岩田知孝の両氏は会社法に定める社外監査役です。

● 株式併合と単元株式数の変更に関するお知らせ

平成27年10月1日をもって当社普通株式5株を1株の割合で併合し単元株式数を1,000株から100株に変更しております。
 この件に関するお問合せは、お取引の証券会社または株主名簿管理人である「みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部」までご連絡ください。

ご連絡先 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	100株 10ページのお知らせをご覧ください。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 当社ホームページをご覧ください。 http://www.yodoko.co.jp/

スチール! & アイデア! ヨドコウ

〒541-0054 大阪市中央区南本町四丁目1番1号
TEL. (06) 6245-1111 (大代表)
<http://www.yodoko.co.jp/>



株式に関する手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・氏名などの変更 ● 配当金の受領方法・振込先の変更 	口座を開設されている証券会社	
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送・返戻に関するご照会 ● 未払い配当金に関するご照会※ ● その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・氏名などの変更 ● 配当金の受領方法・振込先の変更 	特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送・返戻に関するご照会 ● 未払い配当金に関するご照会※ ● その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

※ 未払い配当金のお支払いについては、株式会社みずほ銀行本店および各支店でもお取り扱いいたします。

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
インターネット <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
郵送物送付先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

重要文化財

ヨドコウ迎賓館(旧山邑家住宅)のご案内



開館ご案内

開館日 水・土・日曜日と祝日
開館時間 10時～16時(入館は15時30分まで)
入館料 大人・大学生/500円 団体/400円(30名以上)
小・中・高校生/200円 団体/100円(30名以上)

お問い合わせ

淀川製鋼所 IR室PRグループ 06-6245-9103
ヨドコウ迎賓館 0797-38-1720
<http://www.yodoko.co.jp/geihinkan/>

